

# 2004年度(平成17年3月期) 第1四半期 決算説明会

2004年8月2日

株式会社 日本航空

# 目次

<b>目次</b>	<b>P1</b>		
<b>第一部</b>		<b>第二部</b>	
<b>2004年度第1四半期決算</b>	<b>P2</b>	<b>今後の施策</b>	<b>P12</b>
第1四半期連結決算の概要	P3	第1四半期の需要動向	P13
セグメント別営業収益・営業利益	P4	増収施策(国内旅客)	P14
航空運送事業セグメント	P5	増収施策(国際旅客)	P15
国際旅客方面別需要・供給	P6	燃料単価の高騰	P16
収入分析 - 国際旅客	P7	燃油費高騰に対する施策	P17
収入分析 - 国内旅客	P8	<b>APPENDIX</b>	<b>P18</b>
収入分析 - 国際貨物	P9	国際旅客方面別需要・供給(対FY02)	P19
営業費用の増減(航空運送事業セグメント)	P10	収入分析 - 国際旅客(対FY02)	P20
燃油費と為替(航空運送事業セグメント)	P11	連結運送実績(FY04/FY03)	P21

# 第一部

## 2004年度第1四半期決算

# 第1四半期連結決算の概要

(単位:億円)

	FY03 / 1Q	FY04 / 1Q	増減
営業収益	3,988	4,793	+804
営業利益	769	302	+467
経常利益	767	357	+409
当期利益	772	407	+365



# セグメント別営業収益・営業利益

(単位:億円)

	営業収益		営業利益	
航空運送	3,833	(+693)	320	(+408)
航空運送関連	691	(+100)	13	(+32)
旅行企画販売	983	(+211)	5	(+14)
その他	571	( 12)	11	(11)

数値は全て連結調整前

( )内は前年差

# 航空運送事業セグメント

(単位:億円)

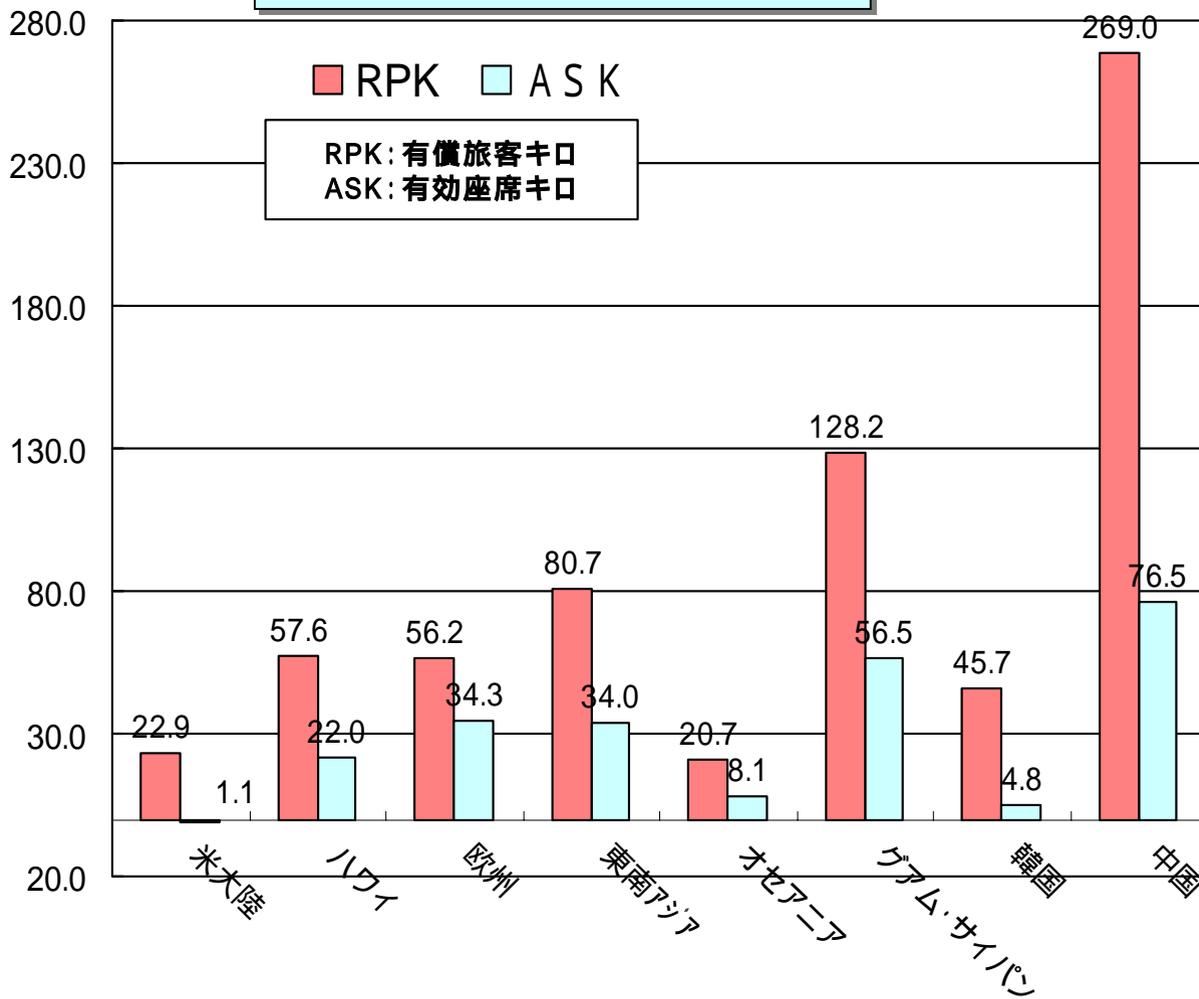
	FY03/1Q	FY04/1Q	増減	前年比
営業収益	3,139	3,833	+693	122.1%
(国際旅客)	938	1,500	+562	159.9%
(国内旅客)	1,457	1,500	+42	102.9%
(国際貨物)	356	404	+47	113.4%
(国内貨物)	71	74	+3	104.6%
(その他)	314	352	+38	112.1%
営業費用	3,868	4,153	+285	107.4%
営業利益	728	320	+408	-



# 国際旅客方面別需要・供給(対FY03)

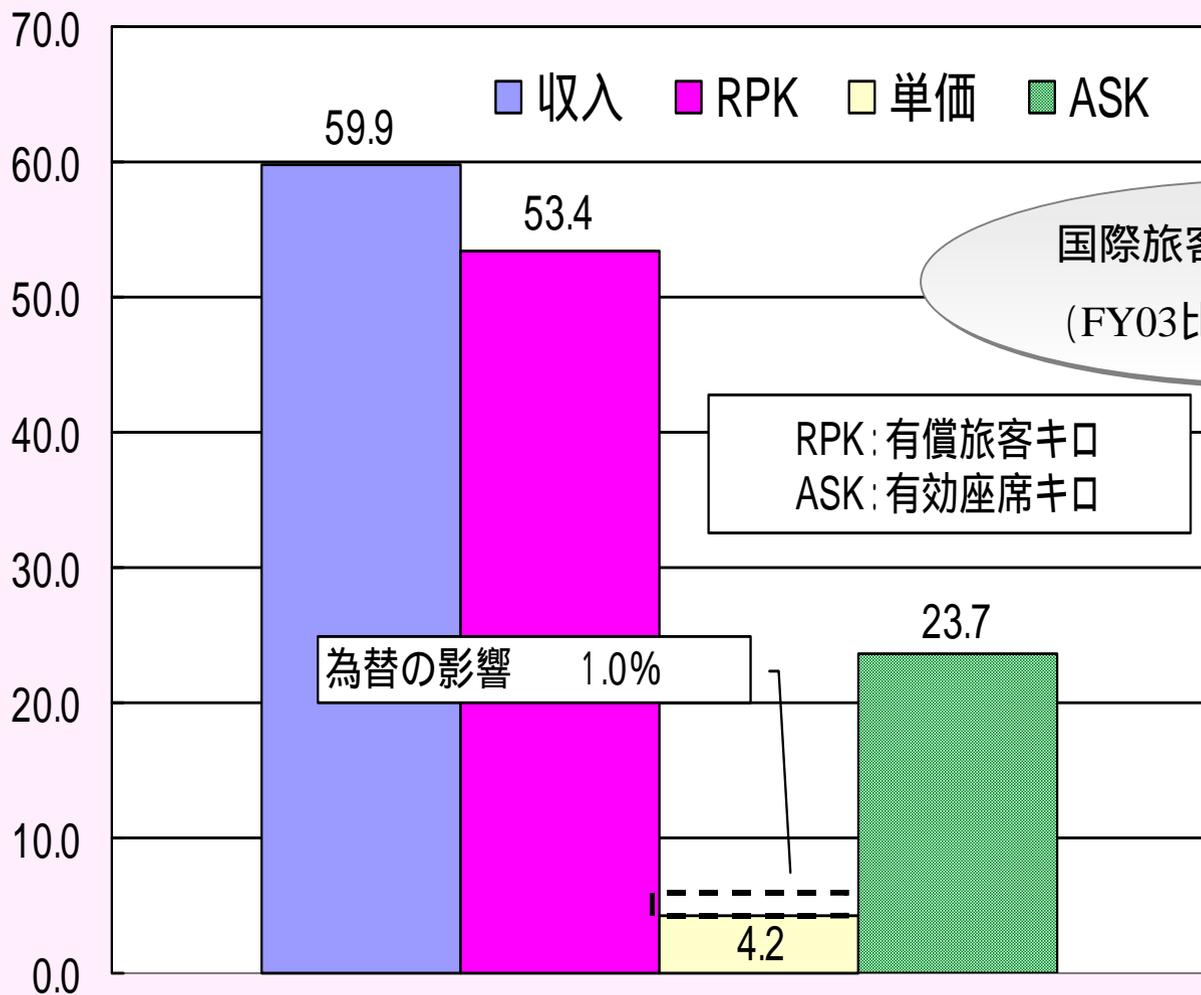
対前年伸び率(%)

L/F(利用率) FY04 66.0% FY03 53.2%



# 収入分析 - 国際旅客

対前年伸び率(%)

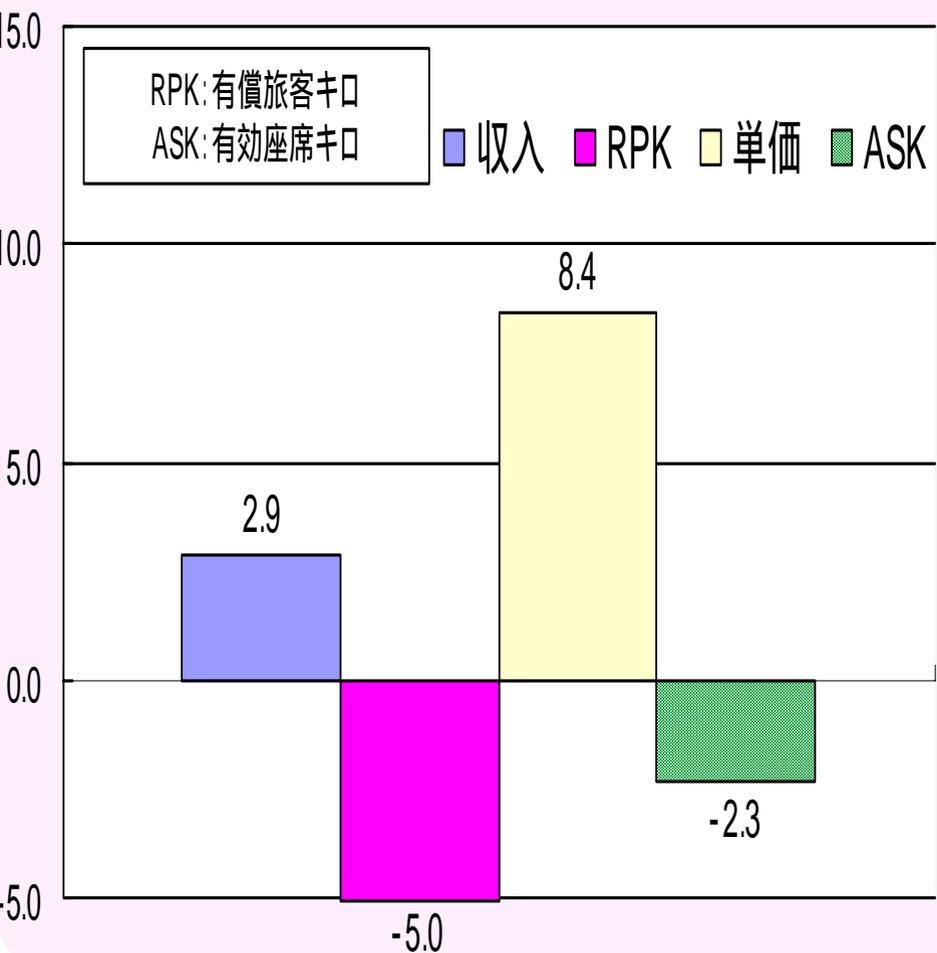




# 収入分析 - 国内旅客

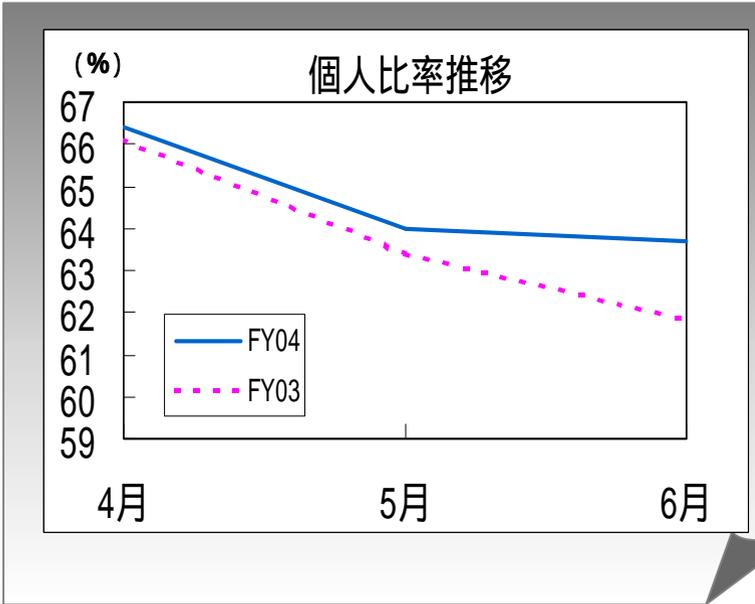
L/F(利用率) FY04 59.7% FY03 61.4%

対前年伸び率 (%)

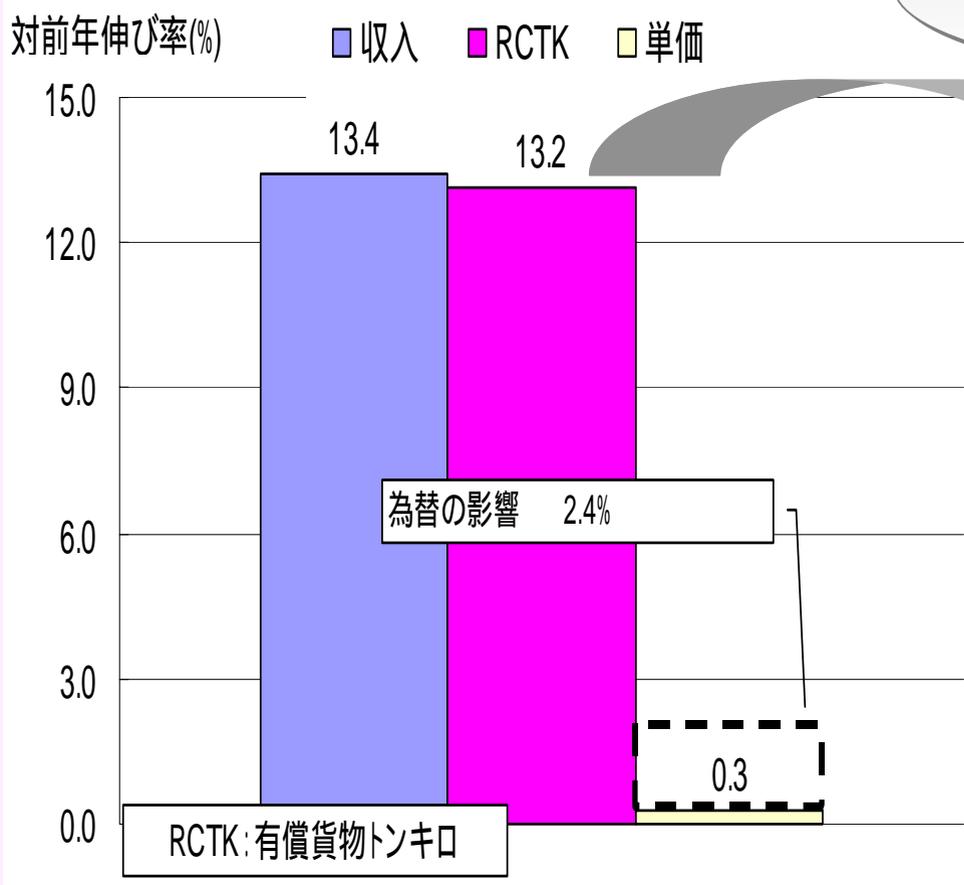


国内旅客収入  
1,500億円(前年同期比+42億円)

**個人比率** (4月～6月累計)  
64.7% 前年差 +1.0

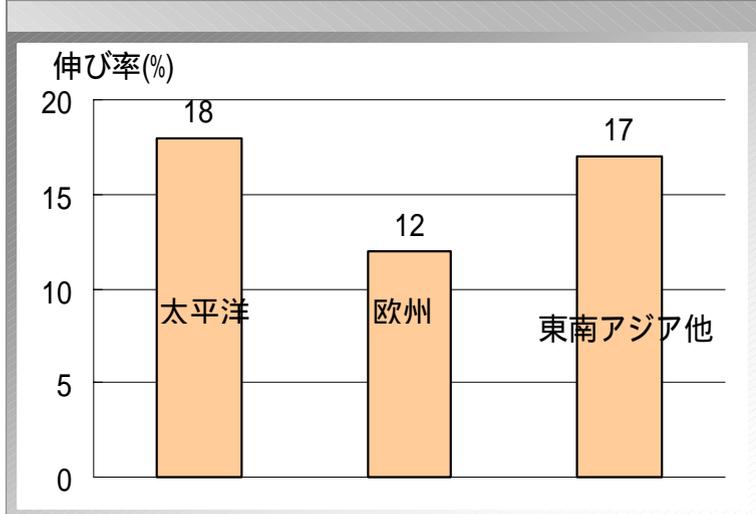


# 収入分析 - 国際貨物



国際貨物収入 404億円  
(前年同期比 +47億円)

方面別搭載重量 対前年伸び率  
(発着トンヘース)





# 営業費用の増減(航空運送事業セグメント)

(単位:億円)

	FY03 *1	FY04	増減	前年比
燃油費	593	654	+61	110%
運航施設利用費	313	334	+21	107%
整備費	296	291	6	98%
貨客サービス費	97	123	+26	127%
販売手数料	236	316	+80	134%
航空機材減価償却費	190	196	+7	104%
航空機材賃借料	231	247	+16	107%
人件費	834	836	+2	100%
その他	1,078	1,157	+78	107%
合計	3,868	4,153	+285	107%

\*1 弊社決算説明会資料(2003.8.4)の値を一部変更しております。

# 燃油費と為替 (航空運送事業セグメント)

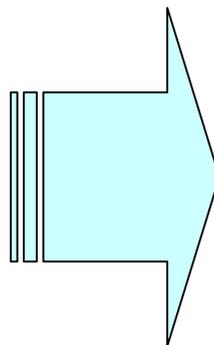
## 燃油費 (4月 - 6月平均)

市況(シンガポールケロシン)  
 FY04 \$41/bbl  
 (FY03 \$30.5/bbl)

FY04ヘッジ率  
 約40%  
 (FY04予算\$34/bbl)

## 為替

	FY03/1Q	FY04/1Q
USD	¥119.0	¥110.0
EUR	¥131.3	¥132.6



営業収益	28	億円
営業費用	76	
営業利益	+ 48	

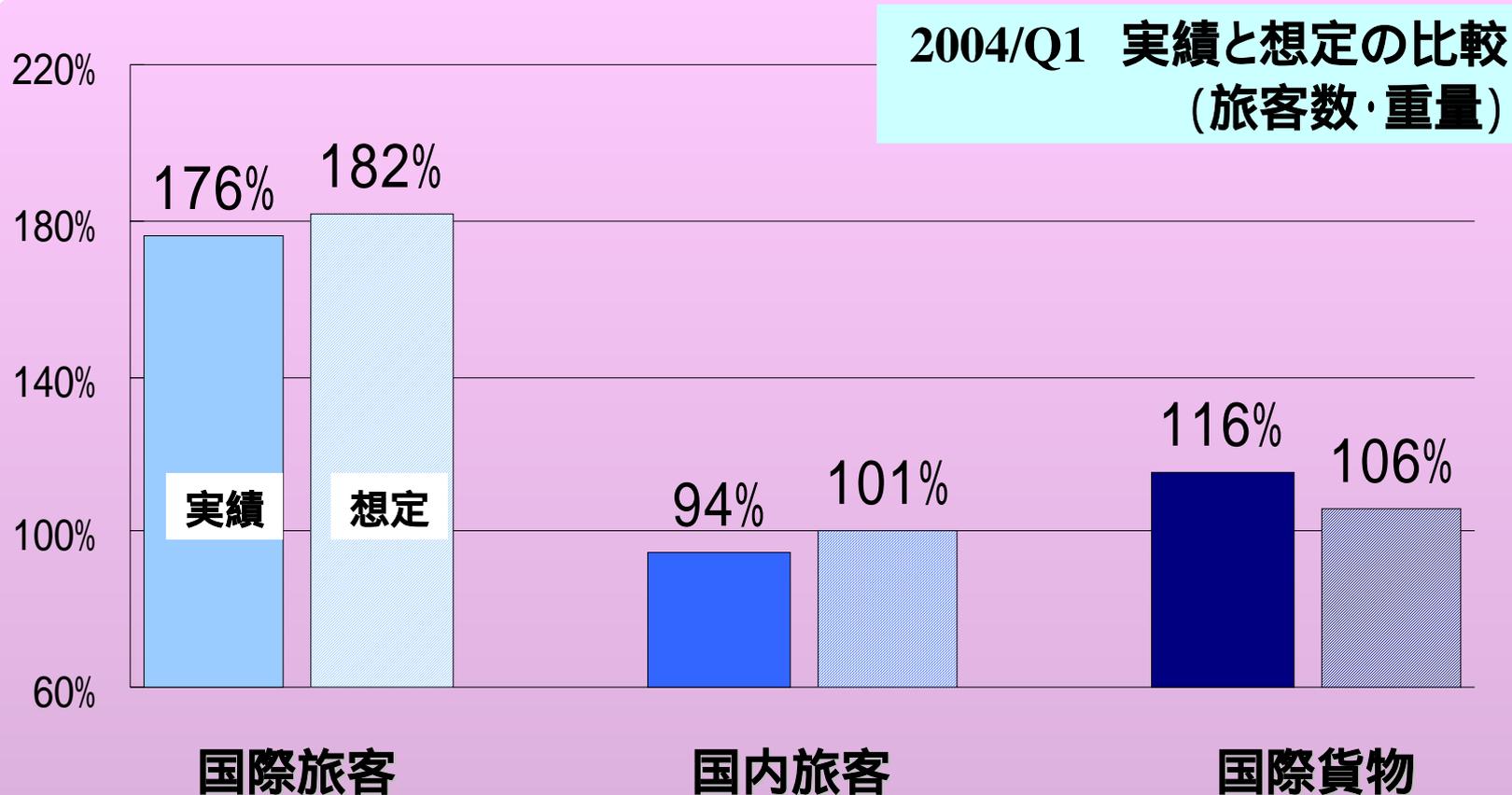
---

# 第二部

## 今後の施策

# 第1四半期の需要動向

➤ 対想定：旅客は若干のマイナス、貨物は好調



# 増収施策(国内旅客)

## 個人運賃政策

- 1.「おともdeマイル割引」キャンペーン第2弾
- 2.下期運賃設定
  - 「バーゲンフェア」拡充
  - 「バースデー割引」継続設定
  - 「eチケットレス割引」12月導入
- 3.需要変動に応じたよりきめ細かい運賃設定

## 団体販売強化

- 1. 方面別キャンペーン実施
- 2. ジャルツアーズを中心とした団体旅行商品販売の強化

## 販売促進

- 1. クラスJの利用促進強化
- 2. ファミリー需要獲得に向けた、JAL「空飛ぶ夏休みキャンペーン」実施

## その他

レベニューマネジメントの推進

# 増収施策(国際旅客)

## 日本地区ビジネス需要強化

1. Power China・ボーナスマイル等のキャンペーン
2. B777-300ER導入やCBB\*スタート(12月~)

## 日本地区観光需要強化

1. 旅行商品ラインアップ強化
2. アジア線の重点露出展開
3. 学生向新運賃設定(ユース悟空28)

## 海外地区販促強化

1. 中国線販促強化(企業契約強化、中国Web販売)
2. Visit Japanと連携した訪日商品展開

## その他

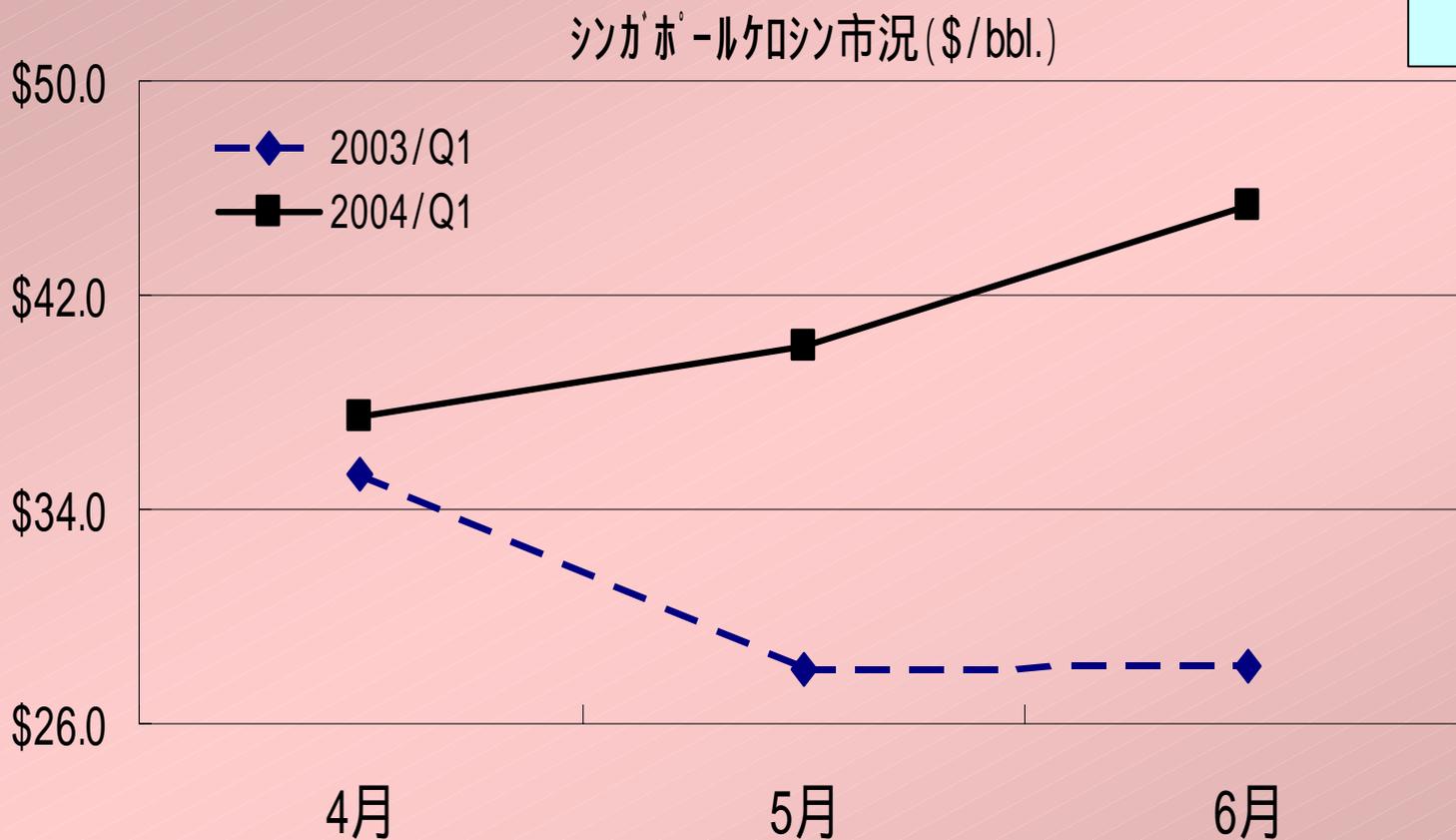
1. 予約管理強化
2. 高需要路線のチャーター便を増便

\*Connexion by Boeing = 機内で使用できるインターネットサービス

# 燃料単価の高騰

➤ 引続き燃料単価は高止まり

'04年度前提  
\$34/bbl



# 燃油費高騰に対する施策

燃油単価影響額  
300億超\*

## < 主な追加収支改善策 >

- ・国際旅客運賃、国際貨物  
燃料サーチャージの改定 90億  
(含販売手数料増分)
- ・費用削減を中心とした策 170億  
(委託費、管理可能費削減 他)
- ・下期路線便数計画見直し 40億

合計 300億以上

\*{ \$44/bbl(市場) - \$34/bbl(想定) } × 50億(感応度)  
× 60%(未ヘッジ分)

---

# APPENDIX

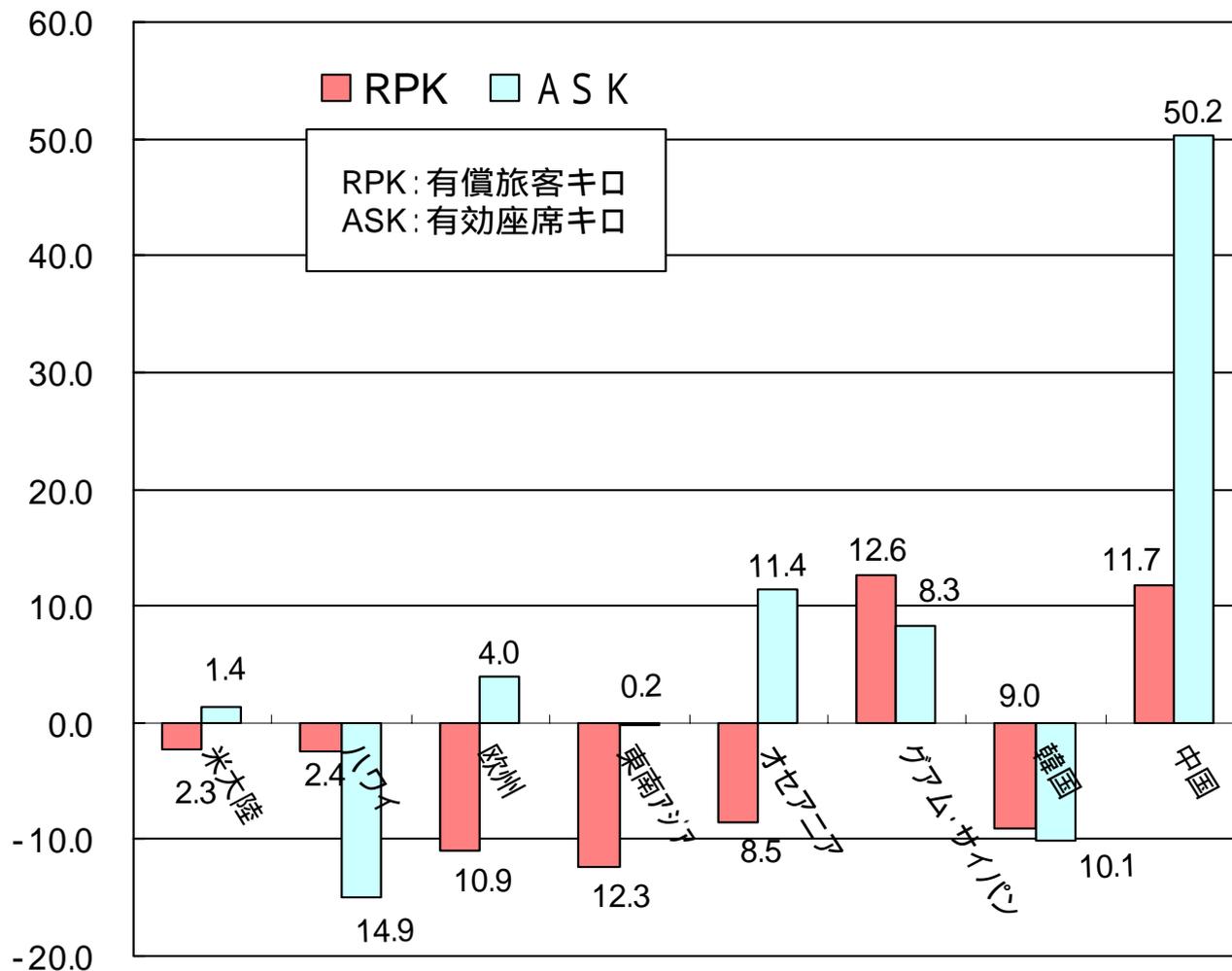
# 国際旅客方面別需要・供給 (対FY02)



対FY02

対前々年伸び率 (%)

L/F (利用率) FY04 66.0 % FY02 71.2%



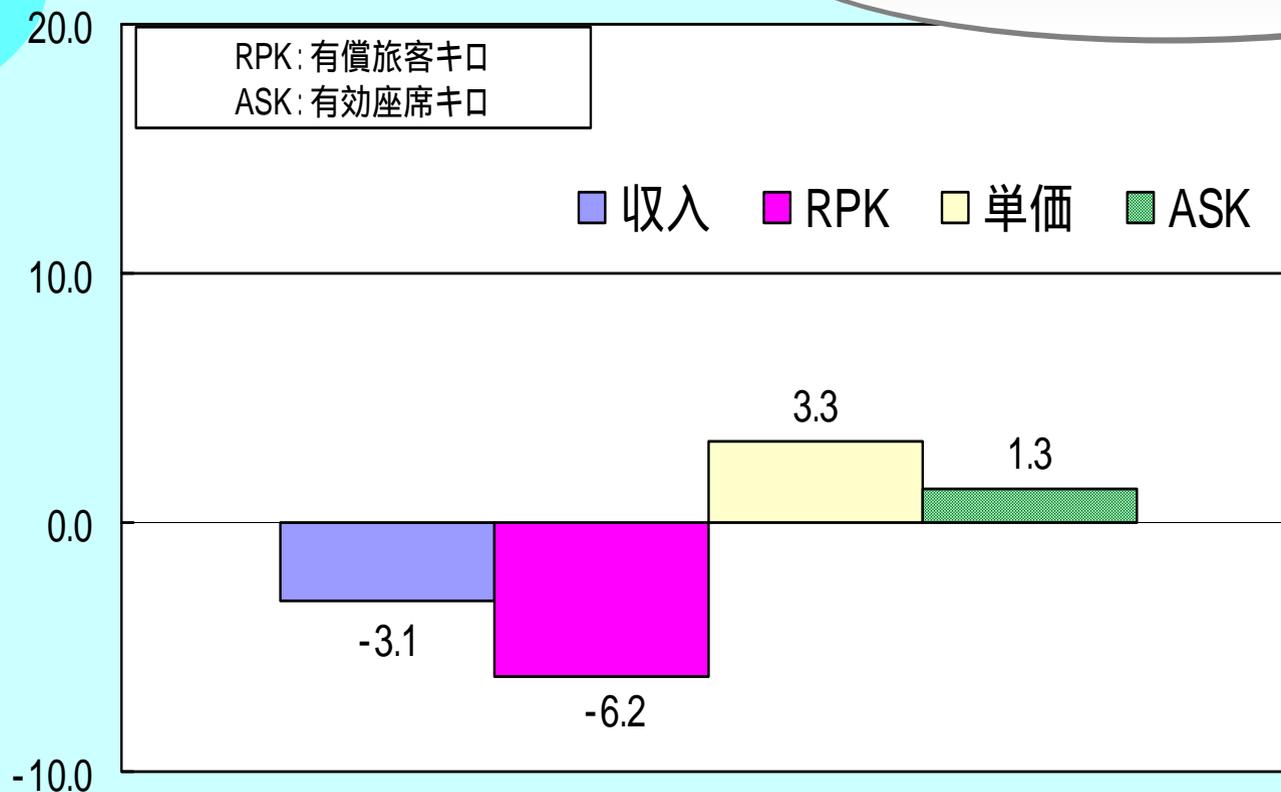
# 収入分析 - 国際旅客 (対FY02)

対FY02

対前々年伸び率 (%)

国際旅客収入 1,500億円

(FY02比 4.8億円)



# 連結輸送実績 (FY04/FY03)

		FY04(4月-6月)	FY03(4月-6月)	前年比
国際線	有償旅客数(人)	3,337,752	1,901,799	175.5%
	有償旅客キロ(千人キロ)	16,024,965	10,443,939	153.4%
	有効座席キロ(千席キロ)	24,290,190	19,636,290	123.7%
	有償座席利用率(%)	66.0%	53.2%	12.8
	有償貨物トン・キロ(千トン・キロ)	1,146,051	1,012,830	113.2%
	郵便トン・キロ(千トン・キロ)	34,015	37,996	89.5%
	有償(合計)トン・キロ(千トン・キロ)	2,671,699	2,023,709	132.0%
	有効トン・キロ(千トン・キロ)	4,050,834	3,448,758	117.5%
	有償重量利用率(%)	66.0%	58.7%	7.3
国内線	有償旅客数(人)	10,530,669	11,184,355	94.2%
	有償旅客キロ(千人キロ)	7,797,341	8,210,956	95.0%
	有効座席キロ(千席キロ)	13,058,600	13,362,458	97.7%
	有償座席利用率(%)	59.7%	61.4%	1.7
	有償貨物トン・キロ(千トン・キロ)	94,889	84,842	111.8%
	郵便トン・キロ(千トン・キロ)	16,566	15,872	104.4%
	有償(合計)トン・キロ(千トン・キロ)	695,901	716,281	97.2%
	有効トン・キロ(千トン・キロ)	1,543,124	1,567,034	98.5%
	有償重量利用率(%)	45.1%	45.7%	0.6
合計	有償旅客数(人)	13,868,421	13,086,154	106.0%
	有償旅客キロ(千人キロ)	23,822,306	18,654,896	127.7%
	有効座席キロ(千席キロ)	37,348,790	32,998,748	113.2%
	有償座席利用率(%)	63.8%	56.5%	7.3
	有償貨物トン・キロ(千トン・キロ)	1,240,940	1,097,672	113.1%
	郵便トン・キロ(千トン・キロ)	50,581	53,868	93.9%
	有償(合計)トン・キロ(千トン・キロ)	3,367,600	2,739,991	122.9%
	有効トン・キロ(千トン・キロ)	5,593,958	5,015,792	111.5%
	有償重量利用率(%)	60.2%	54.6%	5.6

(注)

国際線：  
JALI+JAA+JAZ

国内線：  
JALI+JALJ+JTA+JEX  
+ JAC + HAC + J-AIR

数字：切捨処理

比率：四捨五入

お問い合わせ先

株式会社日本航空 IRデスク

〒140-8605 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング

TEL: (03)5769-6097 FAX: (03)5769-6492

Office Hour: 平日 9:30-12:00, 13:00-17:00

URL: <http://www.jal.jp>

- 本資料はあくまで御参考資料であり、正確な決算数値等は業績の概況等を御参照下さい。また、当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は2004年8月2日開催決算説明会補足説明資料であり、著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社日本航空に属します。

Please refer to the Financial Information (“Gyoseki no Gaikyo”) for the precise figures on the account settlement.

Any statements in this document, other than those of historical facts, are forward-looking statements about future performance, which are based on management’s assumptions and beliefs in light of information currently available, and involve risks and uncertainties. Actual results may differ materially from these forecasts.

This document is published as supplemental materials for the Briefing on JAL Group’s Financial Statements for FY2004/1Q. The copyright of this document belongs to Japan Airlines Corporation.

本日の会社説明の様子はインターネットTV **JAL TV** で映像でご覧いただけます

([www.jal.co.jp/broadband/](http://www.jal.co.jp/broadband/))